

平成24年度 第6回仙北地域協議会 会議録

●日 時：平成25年2月28日（木）16：00～

●会 場：市役所仙北庁舎3階 第1会議室

●出席委員（16名）

池田キミ 池田武 黒澤三郎 今野順子 佐々木勝夫 佐々木忠雄
佐藤昇 佐藤力哉 進藤勇吉 千葉嗣助 原松男 須田若子
伊藤良子 伊藤まり子 戸澤龍悦 池田佐喜男

●欠席委員（2名）

大澤隆夫 佐々木勝夫

●職 員

老 松 博 行 （副市長）
佐々木 ジョージ （仙北支所長）
佐々木 博 （農林建設課長）
伊 藤 明 （農林建設課参事）
須 田 和 久 （市民サービス課参事）
佐々木 まゆみ （仙北公民館参事）
伊 藤 隆 造 （市民サービス課参事）
鈴 木 美奈子 （市民サービス課主査）

1 開 会 市民サービス課 伊藤参事

2 会長あいさつ 仙北地域協議会 会長 佐藤力哉

皆さんこんにちは。いよいよこの地域協議会も今年度最後の会議となりました。本当に皆さんには長い間ご苦勞を掛けたと思います。今日は会議終了後お別れ会が企画されているようで、皆さんで仲良く歓談したいと思います。さて先週はすごい寒波が来て交通機関に影響がありました。私も今週月曜日あたりから毎日秋田に通っておりますが、秋田の町中はまるで算盤の上を歩いているようでカタカタカタカタとなって、いかに大仙市が除雪が素晴らしいか実感しました。今日は春めいてアチコチで除雪作業が行われております。もう春かなと明るい気持ちになります。プラスになる言葉になる普段の挨拶の言葉を多用して、マイナス言葉になる消極的な駄目の言葉を使用せずに、和やかないい家庭が築けると言われています。

今日は案件が2件ですがスムーズな会の進行にご協力ください。また副市長さんが見えられて会議後で懇談するということですので、よろしくお願いいたします。

3 市長あいさつ

市長が所用のため、替わって挨拶させていただきます老松でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まずもって、中仙で発生いたしましたウィルスの食中毒につきましては多くの方にお心配やご迷惑をおかけしたところでございます。あのようなことが二度と起こらないように万全の態勢で取り組んでいるところでございます。

皆様におかれましては、日頃から市政の様々な分野におきまして、特段のご理解とご協力をいただいております、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

また、委員の皆様におかれましては、二期八年の方も含め、今年度が委員としての任期の最終年度となっておりますが、これまでのご尽力に対して、改めて御礼を申し上げますとともに、今後とも地域の発展のためにご指導、ご助言をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、大仙市が市町村合併に伴い、きめ細やかな自治が引き続き行えるよう、旧市町村の八つの地域に「地域自治区」を設置し、それぞれの自治区に地域協議会を設けてから、早いもので八年が経とうとしております。以来、地域協議会委員の皆様には、地域枠予算の活用のほか、地域振興計画の策定、市への提言の取りまとめなどにご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

これまで地域枠予算を委員各位よりご審議賜り、平成十八年度より通算して仙北地域は百三十三件の御承認をいただき、自治会関連三十七件、文化財保護関係二十一件、交通安全関係十二件、その他六十三件となっております。拓田柵跡や旧池田氏庭園等、文化遺産の宝庫であることから、文化財保護関係に関する事項が他地域に比べて多くなっております。地域枠予算の本分である特色ある地域の活性化のためにご助力いただき、重ねて感謝申し上げます。

本市では「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」を将来像に掲げ、市民と行政がよきパートナーとして連携していく「協働のまちづくり」を推進しております。本日お集まりの皆様におかれましては、地域のリーダーとして、この協働によるまちづくりに率先して取り組んでいただいております。これまでのご尽力に対し、心から御礼申し上げます。

皆様ご承知のとおり、日本、とりわけ地方都市は、人口減少や少子高齢化が進んでおります。加えて、ライフスタイルや価値観の変化により地域

のつながりが希薄になってきており、地域コミュニティの基礎となる自治組織の活力の低下が懸念されております。

こうした状況を踏まえ、本市では平成二十三年十一月から、地域の皆様が自主的に集落機能の維持や活性化に取り組む活動を支援するため、「がんばる集落活性化支援事業」を創設したところであります。

これまで、九団体から活用いただいております、それぞれの集落で自分たちの魅力や特徴を活かした事業に取り組まれております。

皆様には、これまでの地域枠予算の活用に加え、この新たな支援事業につきましても、地域の皆様に対し広く周知いただき、地域が元気になるような取り組みに対しご支援とご助言をいただきますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本日は、地域協議会終了後に慰労会があるということで、普段の協議の場とは違う雰囲気、膝を交えて親しく懇談させていただく場と伺っております。市政運営のみならず様々なお話をお伺いできる貴重な機会として大変楽しみにしながら参加させていただきましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 会議録署名委員の指名

○佐藤会長

会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は池田キミ委員、須田若子委員にお願いいたします。

5 議 事

1) 地域枠予算について

NO. 25 仙北地域歴史資料継承事業

説明者 伊藤市民サービス課参事

○池田佐喜男委員

この中にエピソードなども含まれているということは、私も案内役をやっていますが、今までになかったユーモアのある話があれば役立つと思いますし、本を残すというようなことはだんだん無くなってしまおうと思うので、今やらなければならないと思います。賛成です。

○佐々木忠雄委員

私も池田家顕彰会の一員でありまして、こういうものがあれば案内の時

に参考になると思いますので、作ることに賛成です。

○黒澤委員

これは有名な後藤宙外の著作ということで大変貴重なものだと思います。直筆の原稿でさえ価値のあるものだと思いますが、それが本にならずに埋もれていたということは非常に残念なことでしたが、この機会に発刊されるということは、実に絶妙なタイミングで良かったと思います。

○進藤勇吉委員

50冊の頒布先はどのようなところを考えておりますか。

○伊藤市民サービス課参事

もっと予算がある時実施出来ればよかったですのですが、最後の方になってしましまして、18冊については皆さんのお手元に届けたいと思っております。残りについては文化財保護課を通じて図書館関係に寄贈し、もちろん仙北図書館には2、3冊置いていただきたいと考えております。

印刷所に版がありますので、今後は史談会や顕彰会で希望を取りまとめて印刷することが出来ますし、また部数が多ければ一冊当たりの単価も安くなりますので、今回は道筋をつけたというところでご勘弁いただきたいと思ひます。

○黒澤委員

旧池田庭園の公開時に、この本があれば沢山売れると私は思っております。池田家顕彰会が受け皿となればかなりの量がさばけると思ひます。

○須田委員

私も高梨婦人会に加盟していて、皆さん旧池田家の庭園は見ているけれども、当主のことや詳しいことは知らない人がいて、来月に旧池田家のことについて講演してもらおうことになっているんです。私とすればいい機会にこういう本を出してもらえんことをうれしく、いいことだと思ひます。

○佐藤会長

これについて、他に何かご意見ございませんか。
特に異論なければ承認したいと思ひますが、ご異議ございませんでしょうか。

【全員一致で異議なしの声あり】

NO.26 交通安全推進事業

説明者 伊藤市民サービス課参事

○佐藤会長

仙北地域の玄関口で道路が狭くて、バスと交差する時は必ず電柱の陰によらないと通れないような状態で大変だなと思います。これについてご意見ありませんか。

○佐々木忠雄委員

記憶によれば、過去に悲惨な事故があったように記憶しておりますのでこの件については賛成です。

○進藤委員

地元の人が危険とかんじているので、こういうことはどんどん改善されていくべきと思います。

○佐藤会長

これについて、他に何かご意見ございませんか。
特に異論なければ承認したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

【全員一致で異議なしの声あり】

6 その他

○戸澤委員

避難場所の標識が整っていないように思われます。新年度の地域枠予算でお願いしたいと思います。他の地域には標識が見受けられますので、よろしく願いいたします。

○佐々木支所長

避難場所に関連してですけれども、庁舎の隣の就業改善センターも現在避難場所になっております。昨年耐震診断を庁舎と就業改善センターを行いました。庁舎の方は0.47という数字が出て、0.7が耐震診断の目標値となります。隣の就業改善センターの方は0.18という数字しか出ませんでした。改修の目途は0.3を基準としている訳ですが、

残念ながら修復に値しない大変危険な建物で一般の方々は入られないことにしている。市の方ではいまのところ解体の方向で決定されております。

跡地には防災関連の建物とか検討中であります。現在の状況を皆さんに周知したいと思います。また看板の方は検討させていただきたいと思います。

○老松副市長

解体の方向で進んでいますが、財政も厳しい折から大変ですが必要最小限の建物は建てる予定であります。

○千葉委員

大仙市で水道事業について、仙北の水質が悪い地域のアンケートを実施しましたが、話を伺いますと私の地区は50%未満ということでしたが、計画地区から除外なるという噂を聞きましたが、アンケートの結果について教えていただきたいと思います。

○農林建設課長

仙北地域全体を対象にアンケートを取りました。しかしながら、戸地谷地区、上水道対象地区は省きました。また下田茂木集落はここ2から3年で設備投資しましたので、ここも省きました。回収率は88%程度だったと思います。その中で加入同意率が90%以上でなければ事業が出来ない状態です。現在は50%～88%の加入同意率でした。先日市長と協議しまして、一度作ってまた付けたして作る訳にはいかない。同意率が低いところもカバーできるように、また水源を2か所～3か所を目安に、進めるように指示を受けております。アンケート調査の結果は皆さんにお知らせして今後各集落に出向いて説明会を開催して、更にもう一度同意を取って、平成25年度は説明会で同意率を達成する予定です。

同意率が低いということで、除外することではないです。

○千葉委員

基盤整備の後に、自噴しなくなったり、問題はたくさんある。アンケートを書いた人は今まで水はタダという意識の人がアンケートを書いたものであって、アンケート結果が低いので地区除外するというのではなく検討してほしいと思います。

○佐々木農林建設課長

記入された方々の年齢を見ますと、60代～70代となっており、市長からは子育て中の若い世代をターゲットにして事業を進めなさいと指示をいただいております。

○池田佐喜男委員

水道のことについては、私の方からも要望したいと思います。私の方

も水道はかなり古くなっておりますが、飲用水としては大丈夫だということです。とにかく安いのでこれで良いという人もおりますが、修理が効かないほどに壊れたときは、加入を考えなければならないので同意率が悪くて対象にならないと大変ですので説明の方をそろしくお願いいたします。

7 開 会

○佐藤会長

以上で、第6回の地域協議会を閉じます。ありがとうございました。

この会議の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員

仙北地域協議会署名委員